

学務事務システム 評価項目/評価基準に関する評価ポイント

評価基準	項番	評価ポイント	評価配点
評価の観点:ここでは、仕様書にはない、社としての経験・能力を評価する。			
社の経験・能力等	1. (1)	(1)総合大学への導入実績数。	75
		(2)LMSの導入実績数。	
		(3)ポートフォリオ機能の導入実績数。	
		(4)2期に渡る導入実績数。	
	1. (2)	(1)ISO/IEC 27017の認定を取得しているか。	
		(2)ISO/IEC 27001の認定を取得しているか。	
		(3)その他の情報セキュリティに関する認証の有無で評価を加算する。	
		(4)その他本業務の実施上有益と思われる資格・認証の有無で評価を加算する。	
	1. (3)	(1)プロジェクトマネージャは情報処理安全確保支援士、システム監査技術者、その他の情報処理技術者資格または同等以上の資格を有しているか。	
		(2)プロジェクトメンバーは、本件システムと同等規模(利用ユーザ数、トランザクション数、要求される信頼性等)のシステムの開発・運用をどれくらい実施した経験があるか。その際プロジェクトの成功を証明する資料が添付されているか。	
		(3)データ移行を含む、システム稼働までの手法・マイルストーン等が明らかにされているか。	

学務事務システム 評価項目/評価基準に関する評価ポイント

評価基準	項番	評価ポイント	評価配点	
評価の観点:ここでは、性能・機能が仕様書に記載したより以上に有効に活かされるかを評価する。				
性能・機能等	仕様書に記載の多人数の同時アクセスが発生した場合のシステム遅延・システム停止リスク低減について考慮されていれば評価する。	2. (1)	(1)遠隔授業実施期間中においても制限を設けることなく運用できる設計や構成となっているか。またはアクセスが集中する期間にサーバーを強化する等の運用をサポートする仕組みがあるか。	130
	教員が積極的にLMSを活用したいと思わせる工夫が見られれば評価する。	2. (2)	(1)通常授業でも学生と教員のコミュニケーションツールとして利用でき、ユーザが直感的に操作できることが望ましい。	
			(2)LMSを活用した学生を積極的に授業に参加させる工夫が示され、ユーザが直感的に操作できることが望ましい。	
	「ポートフォリオ」「学習の見える化」を意識した学生カルテ、データベースのデータの拡張性等について工夫が見られれば評価する。	2. (3)	(1)ポートフォリオについて、データベースへの新規フィールド追加が行えるなど、データベースの拡張性は考慮されているか。	
			(2)学習の見える化について、データベースへの新規フィールド追加が行えるなど、データベースの拡張性は考慮されているか。	
	セキュリティ強化による個人情報流出防止に工夫が見られれば評価する。	2. (4)	(1)学内外からの不正アクセスを防止する手法が明らかにされているか。	
			(2)個人のデータに対するアクセス経路、アクセス制御方法、データの保全方法等、データベースの性能は明らかにされているか。 機密性(confidentiality)、完全性(integrity)、可用性(availability)について詳細が明らかにされているか。	
			(3)情報セキュリティ対策について、その計画と目標が示され、取り扱うデータに応じた対策の考え方が明らかにされているか。	
(4)情報セキュリティに係る不具合が発生した場合の対応フローが明らかにされているか。				
(5)人事異動等に伴うアクセス権の変更が速やかに行える事が明らかにされているか。				
(6)ウィルスチェック、パッチ適用等、システムの点検を定期的実施する事が明らかにされているか。				
学生が容易に必要な情報を入手ことができ、大学として学生サービスの向上に繋がる工夫が見られれば評価する。	2. (5)	(1)ユーザインターフェイスについて、操作性や視認性に優れており、ユーザが直感的に操作できる。		
教員が容易に操作することができ、学生情報を共有することにより学生の個性に応じたタイムリーなサポートが可能となる工夫が見られれば評価する。	2. (6)	(1)参照可能な学生情報、操作性、視認性、セキュリティ面で優れており、直感的に操作できる。		
スマートフォン用アプリケーションについて、簡易な入力にも対応可能で、OSによる機能制限やセキュリティに関して問題なく使用できれば評価する。	2. (7)	(1)OS(Android,ios等)による機能制限が記載されていないか。		
		(2)情報の参照機能だけではなく、簡易な入力に対応できているか。		
		(3)プッシュ通知などの新着お知らせ機能を設定できるか。		
		(4)通信の暗号化がされているなど、セキュリティについて対策されているか。		

学務事務システム 評価項目/評価基準に関する評価ポイント

	評価基準	項番	評価ポイント	評価配点
評価の観点:ここでは、仕様書を補完して、導入後のサポート等について評価する。				
その他	事務の効率化による職員の労力削減が図られる工夫が見られれば評価する。	3. (1)	(1)担当職員へのヒアリング方法、ヒアリング結果を受けて、どのように新システムに反映させ、問題の解決を図るのか。具体的な手法、スケジュール等が明らかにされているか。労力削減に図れる提案になっているか。	75
	障害発生時に迅速・柔軟に対応できる体制が備わっているか。	3. (2)	(1)保守運用の体制確保と具体的な手順や管理要領が明らかにされているか。	
			(2)問い合わせ窓口が一本化されおり、サポート対応について適切な体制が明らかにされているか。	
			(3)障害時の保守体制フローが明確に記載され、大学側との責任分解点が明らかにされていて、かつ大学側に負担がかかる内容になっていないか。	
			(4)障害発生時にも、すべての業務システムが滞りなく稼働できる事が明らかにされているか。	
	導入後の機能の拡張性について、考え方が明確で具体的であれば評価する。	3. (3)	(1)システム導入後の機能拡張への対応の可否と対応の内容はどうか。	
	教員・職員・学生に向けたシステム講習会等について工夫があれば評価する。	3. (4)	(1)講習会の開催提案は多いほうが望ましい。	
(2)講習会後の質問について、サポートする体制が明らかにされているか。				
(3)講習会用の資料、進行方法について、具体的な提案がされているか。				
データ移行の移行手順が示され、大学の関与が少なければ評価する。	3. (5)	(1)契約期間満了に伴うシステム更新時のデータ移行について、移行手順や手法が示され、大学の負担を少なく移行ができるか		

	評価基準	項番	評価ポイント	評価配点
評価の観点:ここでは、全体を通しての評価を行う。				
全体	特に評価すべき点があれば評価する。	4. (1)	(1)全体を通して特に評価すべき点があった。	20
	カスタマイズ	4. (2)	(別途要件確認書で採点し..カスタマイズの少ない順に評価する。)	